

日本文理大 宇宙開発の技術者育成

教育と研究の両面で宇宙に関わってきたのは日本文理大学。全国的にも珍しい航空宇宙工学科を工

学部を設置している。カリキュラムは宇宙と航空機に関する科目などで構成されており、2年次から

宇宙開発の技術者を目指す

学生向けの

コースを選択できる。宇宙

工学などの研究者の他、民間企業でロ

ケットや人工衛星の開発に

携わった人材を教授陣に迎

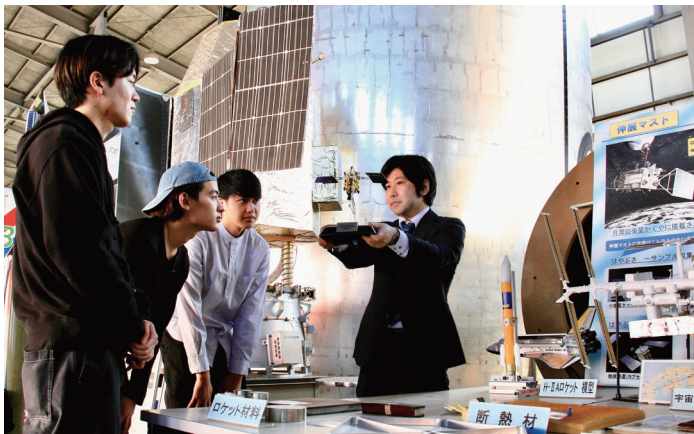
えており、ロケットの仕組

みを学ぶ「ロケット工学」

や、衛星の設

計やシステム開発を学ぶ「衛星システム工学」といった特色ある科目を受けられる。有吉雄哉准教授(宇宙工学)は「宇宙工学の基礎理論から宇宙環境利用技術まで、4年間を通じて幅広く学ぶことができる」と宇宙に特化したコースの魅力を話す。

宇宙産業における技術開発は日進月歩で、「時代に合わせてカリキュラムも見直されてきた」と工学部長の室園昌彦教授(航空宇宙工学)。大分空港の宇宙港計画について「衛星データを利活用したビジネスをはじめ、さまざまな産業が活性化する可能性がある。宇宙関係の仕事我希望する学生も増えてきている。宇宙港に関わる人材が大学から出てほしい」と期待している。



人工衛星やロケットを学ぶ学生たち(日本文理大)